岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 117

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教　科	工業	科　目	地球環境化学	単位数	2	学年・学科	2学年・E科(選択)
教科書	実教出版「地球環境化学」	副教材					

学習目標	地球環境問題の発生原因・背景と人間の生産活動・経済活動との関連をとらえ、エネルギー資源について学び、諸課題の解決に向けて考えます。
学習方法	教科書や情報端末を使って知識を習得し、資料を収集して最新のニュースや身近な話題と結び付け、諸課題の解決に向けて考える主体的な活動、発表等を行うことで理解を深めます。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	地球環境の生い立ち、しくみ、大気・水域・土壌・生態系について基礎的な知識をもち、問題点を理解している。 環境問題について多面的に資料を収集し、比較検討することができる。
	b	思考・判断・表現	地球環境の諸問題をさまざまな観点から総合的に考察することができ、発生の原因・背景と人間の生産活動・経済活動との関連をとらえることができる。
	c	主体的に学習に取り組む態度	地球環境の問題について関心を持ち、課題の解決に向けて実践しようとする態度が身についている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	70%	30%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
		100%	70%	30%
前期末	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
		100%	70%	30%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
		100%	70%	30%
後期末	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	地球と環境と人間	地球環境と人間の活動について学びます。	○			地球と環境と人間生活の関わりについて理解している。	課題レポート 考査
				○		人間活動が地球に与える影響について考えることができる。	
		地球環境問題について学びます。			○	地球環境問題に関心を持っている。	
前期末	地球環境(前編)	大気の環境について学びます。	○			大気、水域のしくみと問題点を理解している。	課題レポート 考査
				○		大気、水域に対する人間活動の影響について考えることができる。	
		水の環境について学びます。			○	大気、水域の問題に関心を持っている。	
後期中間	地球環境(後編)	土壌の環境について学びます。	○			土壌、生態系のしくみと問題点を理解している。	課題レポート 考査
				○		土壌、生態系に対する人間活動の影響について考えることができる。	
		環境と生態系について学びます。			○	土壌、生態系の問題に関心を持っている。	
後期末	人間活動と環境	人間活動を支える物質資源について学びます。	○			再生可能エネルギーについて理解している。	課題レポート 考査
		人間活動を支えるエネルギーについて学びます。		○		資源を有効かつ安全に利用する方法について考えることができる。	
		化学物質の影響について学びます。			○	資源の価値について関心を持っている。	